



～学び 愛し 翔る 西郷小～

西郷富士

QRコード
登録お願
いします。



西郷小学校

令和2年度 第7号

令和2年5月15日

文責 校長 田中裕子

早速学校のために動く6年生

1時間目の体育の時間の隙間時間に、草むしりに励む姿が見られました。岩永先生から「誰のためにするの？」

と聞かれると

「下級生のため」

と答える子ども達。

黙々とする姿に感心しました。こういう地道な行為を進んでできるところが西郷小の子供達です。さすがです！！

また、午後の「防煙教室」では、学校医の貞島薬剤師様を講師に迎え、薬物の怖さ等について講話をしていただきました。そこには、静かにさらさらとメモを取る姿がありました。話す人のことを考えた素晴らしい聴く態度でした。全員が集中していました！

今年度赴任された養護の松野先生も驚かされていました。



授業前の4年生。後ろから見るといかに集中しているかが分かります。背筋の伸びが素晴らしい！

生活習慣をまずは確立させましょう

これまでの生活からメリハリのある学校生活へとモードを変えつつある子ども達。あちらこちらにその兆しが見えることに安堵しております。

もちろん、まだまだのところもあります。学校中を見て歩くと、忘れ物が散見され、友だちに教科書を見せてもらう、裏紙に板書を写すという姿がありました。

「きちんと自分で準備」することで、気持ちが変わります。来週は土曜開校も含めて6日間あります。明日の学習準備を整えて床に就くことを子ども達にお声かけていただければ幸いです。



<無心に草をとる6年生>



<熱心にメモをとる6年生>

木曜日の給食の後、眞崎先生に連れられて1年生の〇〇さんが職員室に来てくれました。それは、初めて牛乳を全部飲めたことを教えてくれるためでした。保育園の頃から苦手だったそうで、1年生になって飲めるかどうか保護者の方も心配されていたのですが、少しずつ先生や友だちの励ましをもらって頑張っていました。そしてとうとう、14日に初めて1本まるまる飲むことができたのです！

このエピソードから、3つの喜びを感じました。

一つ目は「〇〇さんが牛乳を飲めるようになったこと」

二つ目は「そのことをだれかに伝えたいという気持ちになったこと」

三つ目は「それを喜んでくれる1年生であること」

自分が頑張ることを喜んでくれる人がいる、励ましてくれる人がいるということこそ、子供達の心の中に頑張りたいという気持ちを大きくしていくのではないのでしょうか。こういうことが起きるのが学校だからこそですね。一人ではできないけど、仲間とだったら頑張れる、そういう空間でこれからもありたいと思った出来事でした。



～新しい生活様式へ～【裏面参照】

流行がいくらか下火になったとは言え、感染の可能性は依然として高いままです。そのような中、気になるのは医療従事者、感染された方や家族、〇〇県だからという風評による差別が起きていることです。安易に噂を信じたり、よく分からないまま情報発信をしたりすることは避け、国や県市町からの正しい情報を基に判断をしていきたいと思えます。学校、ご家庭、地域が協働して感染防止をすると共に、良識ある行動をとっていくことがこれからは更に求められると思えます。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

厚生労働省 HP 新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」から引用

「地球温暖化対策のため室温は28℃

クールビズ実施中です！

- ・軽装、ノーネクタイにご理解をお願いします。
- ・来校の方も差し支えなければ、軽装等のクールビズにご協力をお願いします。

